

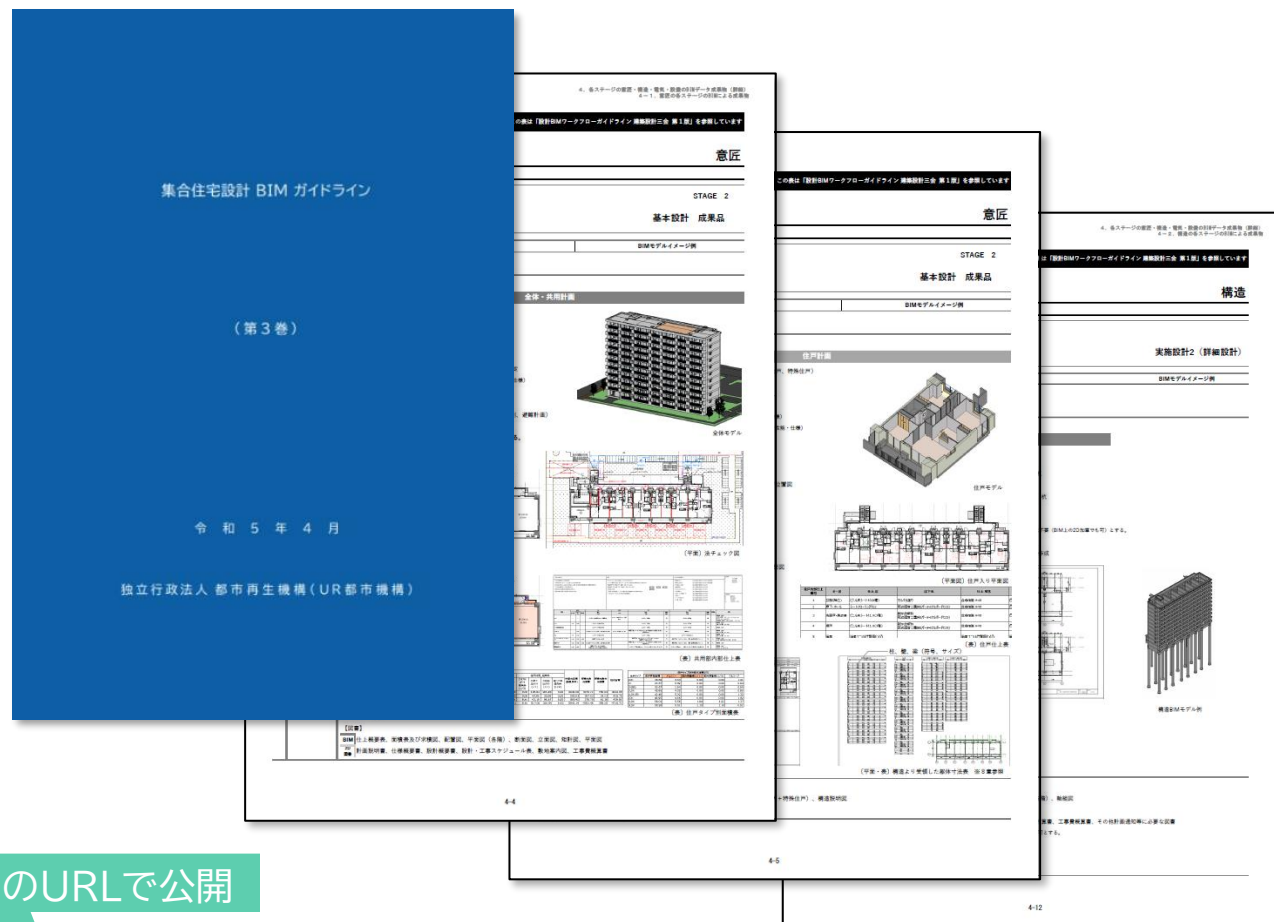
集合住宅用途の設計BIMガイドラインを作成 ～ガイドラインと作成したBIMデータ類を公開～

2024年3月25日

独立行政法人 都市再生機構
BIM・CIM推進室

ガイドラインと作成したBIMデータ類を公開

UR都市機構は、「住生活基本計画(令和3年3月19日閣議決定)」に定める「新技術を活用した住宅の生産・管理プロセスのDXの推進」を実現するため、集合住宅へのBIM導入による生産性向上に向けた研究を実施してきました。今般、研究で得られた知見の成果として、集合住宅では初となる設計BIMガイドライン及びBIMデータ類を公開しました。



こちらのURLで公開



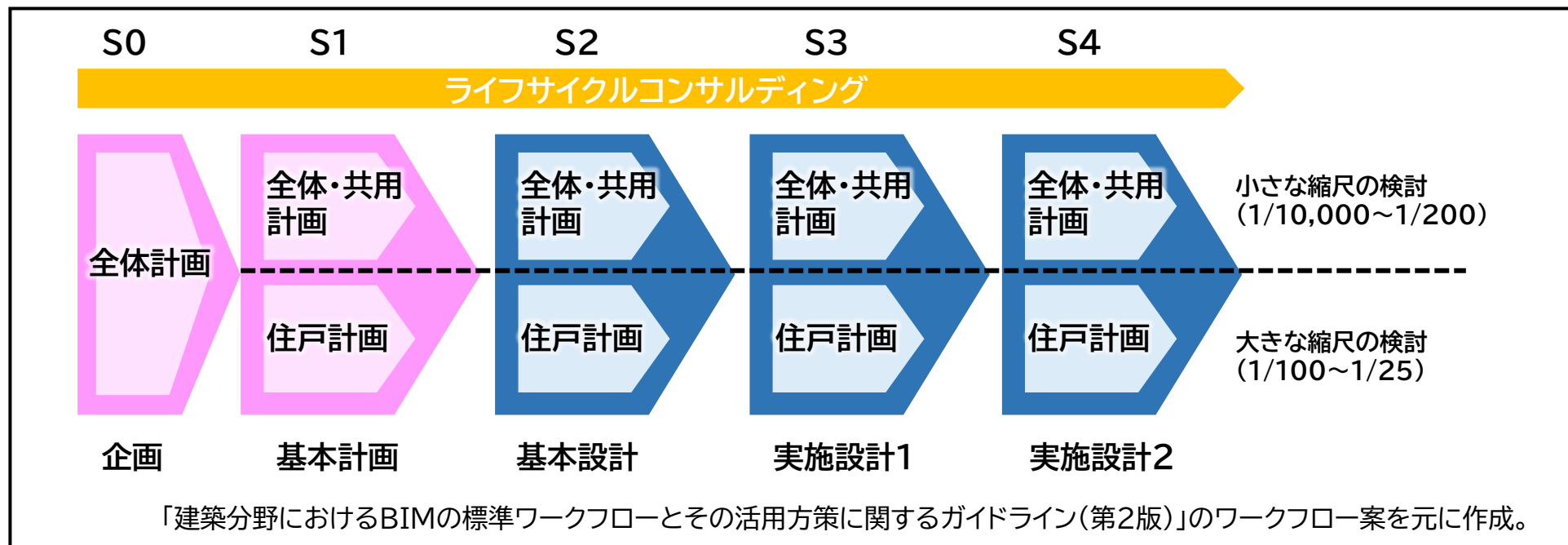
https://www.ur-net.go.jp/rd_portal/UR-BIM/shugohbim.html

公開の目的とねらい、ガイドラインの特徴

発注者として、共同住宅用途の設計業務のEIRを作成しようとしたところ、詳細度の設定等が、設計ワークフローが異なることから、公開されたガイドライン等では、対応できないことから、自ら作成し、公開することに。

共同住宅用途の設計の場合、

「**全体・共用の計画**」、「**住戸計画**」の設計を分けて考えて、設計が進んでいる。



作成するにあたって、発注者、受注する設計者双方が、BIM活用にあたって、業務時間を短縮できるようワークフローを構成。作成したデータ類を公開し、ガイドラインの理解を深め、よりよいBIMデータを構築につなげるよう問合せフォームを構築。

UR都市機構では、令和5年度からすべての新築設計の業務でBIM活用を求める試行を開始。

今年度は、中小設計事務所の導入シェアの高いVectorworks、国産設備BIMソフトウェアでのBIMデータ類の作成と、モニター検証を実施。来年度に公開予定。

BIMデータ類の紹介

